



平成16年

はちがめ農産物直売所“風道”を開設

- 安全・安心な商品だけを提供いたします。
- はちがめ堆肥で生産した野菜やお米、果実などを販売しています。
- もちろんはちがめ堆肥も販売しております。



佐賀大学との連携

平成15年～同大学の地域貢献事業として、村と町を結ぶ地域資源循環ネットワーク支援事業「はちがめエココミねっと」を発足させ、全面的な支援が開始された。

17年度事業としてタイ王国での調査・指導

平成16年にタイ環境教育ワークショップに佐賀大学と参加しはちがめプランの活動を発表、主催者のタイ国と国際協力銀行に高い評価を受け17年度は、生ごみ等有機資源の堆肥化事業に対する日本の技術と活動のノウハウの支援事業に東京のNPO元気ネット・佐賀大学と共に参加することが出来た。



小学校でのベンチスケール



クロンヤン小学校での説明会

佐賀大学「はちがめサテライト教室」が新築完成

平成18年3月大学教育のサテライトネットワーク構築による「地域創性型学生参画教育モデル事業」として佐賀大学キャンパスの延長「はちがめサテライト教室」がはちがめプランに設置されました。



はちがめサテライト教室での学生の研修



小学生の環境教育に活用



JICA紹介による海外からの研修

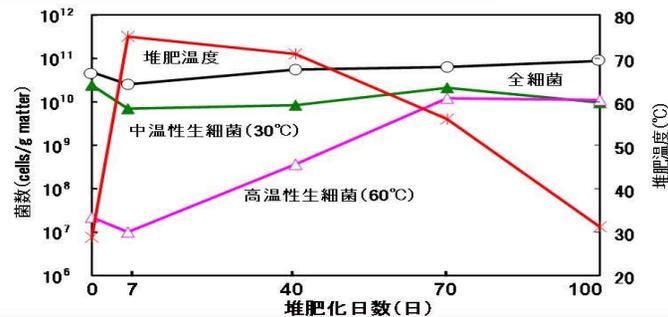
学生による研究と協力



サンプリング



＜結果＞生ごみの堆肥化過程における細菌数の変化



全細菌数: 10^{10} cells/g 乾物のレベルで推移。
 中温性生細菌数(30°C): $10^9 \sim 10^{10}$ cells/g 乾物のレベルで推移。
 高温性生細菌数(60°C): 当初 10^7 , 7~70日後まで増加し, 10^{10} cells/g 乾物に。

- 1) 全細菌数と中温性生細菌数に関しては, 大きな変化はない。
- 2) 70°C以上の高温期でも中温性細菌の方が多い。
- 3) 高温性細菌は高温発酵期間中に増殖を続け, 製品中に残存。

微生物の研究



見学者への説明協力

「新たな公」として

中山間地との連携

平成20年度から市内の中山間地である山代町川内野地域(66世帯216人)と連携、同地域においてはちがめ堆肥を活用し黒米やお茶、その他特産品の開発と豊かな自然や山寺(松浦党)等歴史とロマンを活かした農泊を推進しグリーンツーリズムによる同地域の振興と帰農者、新規就農者等による、定住人口の拡大を目指している。



はちがめ堆肥の施肥



「日南郷茶」・「黒米ケーキ」・「黒米クッキー」

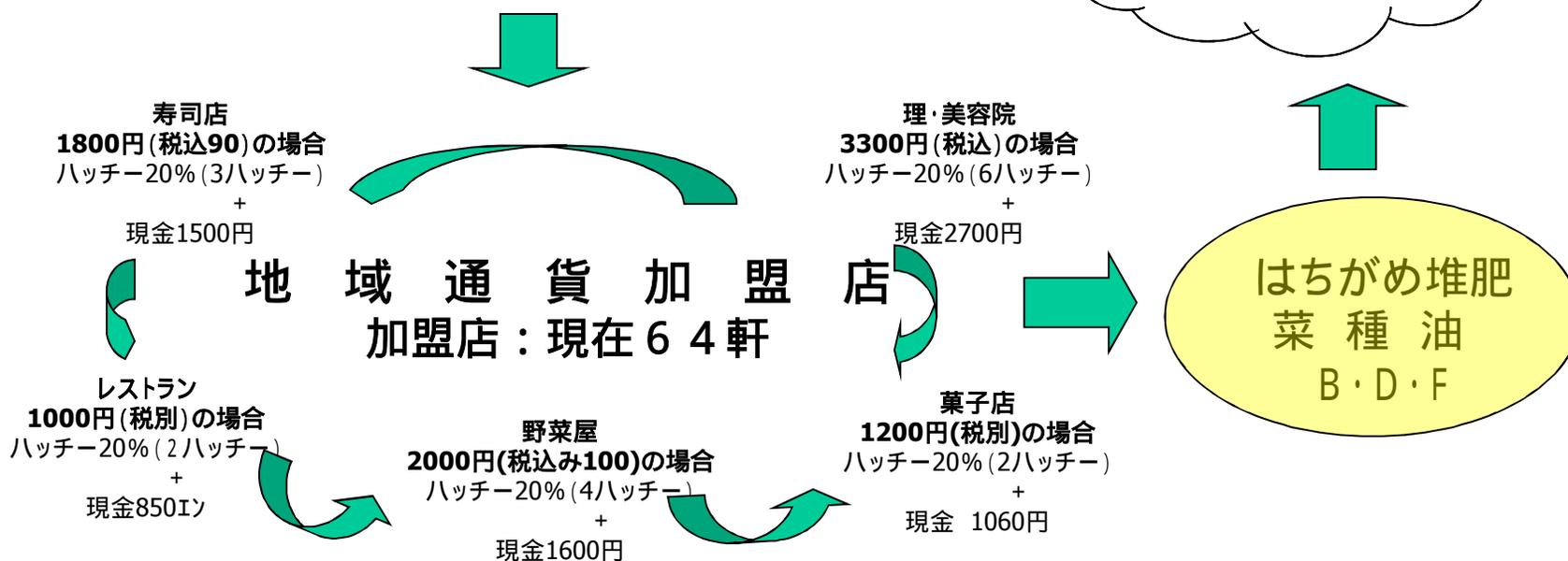


モニター事業

平成16年 地域通貨、菜の花ハッチー券発行



- ボランティア活動に対して 環境保全活動
- 菜の花移植、収穫作業 一般家庭生ごみ分別協力者
- 菜の花まつり、その他イベント 資金的支援参加者



今後の活動

- 1 . 小学校の環境教育を継続発展させ、子供達から保護者へそして地域へと環境意識の広がりを図る。
- 2 . 市民の皆さんの協力を受け生ごみ回収を1日3トに増やし食資源循環の推進を図る。
- 3 . はちがめプランが、長年培ってきた食資源循環による環境保全活動のノウハウと技術の移転・支援事業を九州各県の代表地に実施する。
 - ・ 鹿児島県霧島市では実施済みです。
 - ・ 現在大分県佐伯市と話し合いが進んでいます。